

令和6年度ひきこもり講演会

さまざまな生きづらさを抱えて、外に出るエネルギーが無くなってしまった。ひきこもっている家族や友人にどう関われば良いかわからない。そんなお悩みはありませんか？ひきこもり講演会を通して、ひきこもっている人がどんな気持ちなのかを知って、どうすればひきこもり状態から安心して回復していけるのか、一緒に考えてみませんか？

講演・対談

『ひきこもりの理解と支援～ひきこもり経験者として伝えたいこと～』

講師 一般社団法人ひきこもりUX会議代表理事 林 恭子 さん

ひきこもり当事者 橋本 太 さん

講師紹介

林 恭子 (はやし きょうこ)

一般社団法人ひきこもりUX会議代表理事

高校2年で不登校、その後30代まで断続的にひきこもる。信頼できる精神科医や同じような経験をした仲間達と出会い少しずつ自分を取り戻す。2012年から、「自分たちのことは自分たちで伝えよう」と“当事者発信”を開始し、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動をしている。東京都ひきこもりに係る支援協議会委員等。著書に『ひきこもりの真実—就労より自立より大切なこと』（ちくま新書）『「ひきこもり」の30年を振り返る（岩波ブックレット）』（岩波ブックレット）他。



橋本 太 (はしもと ふとし)

ひきこもり体験談ピア・サポーター

17歳で対人関係から、50歳まで30年以上ひきこもる。2010年に浜松市ひきこもり地域支援センターを利用開始。居場所の利用や中間的就労で徐々に上向く。自身の体験を当事者や家族の前で語るピア・サポート活動を開始。50歳を目前に高次自閉スペクトラム症と診断され、現在は就労継続支援A型事業所で就労中。

日時: 令和6年10月10日(木)
午後13:30～16:00(開場: 13:00)

場所: 男女共同参画センターあざれあ2F
大会議室

住所: 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1
(詳しい地図は裏面をご確認ください。)

※最寄り駅: JR 静岡駅徒歩9分
※駐車場は利用できません。近隣のコインパーキングをご利用ください。(駐車料金はご自身で負担をお願いします)



対象: 当事者、家族、支援者、
その他関心のある方

参加費: 無料

定員: 120名 (事前申込制、先着順)
途中退席可能

(当日参加も可能ですが、定員に達した場合は入場をお断りすることがあります)

申込方法: 左記 QR コード、又はメール、
電話、ファックスでの申込み

※ファックスの場合、裏面の記載事項に記入の上送信してください。

参加申込書

氏名（ふりがな）※ニックネーム可 _____

お住まいの市町（例：静岡市、西伊豆町）※任意 _____

電話番号 または メールアドレス _____

※ご記入いただいた情報は本講演会に関する連絡と参加者の把握にのみ使用し、講演会終了後、速やかに破棄します。

会場周辺地図



ファックス送信先: 054-286-9249

申込期間: 令和6年9月2日(月) ~ 27日(金)まで



＜お問合せ先＞
静岡県精神保健福祉センター
電話番号: 054-286-9245
ファックス: 054-286-9249
メールアドレス: mental@pref.shizuoka.lg.jp

